

2. 株式会社旭製作所

製造業

現場リーダー育成による生産性向上

現場のマネジメント力向上により生産性を向上させ、ワーク・ライフ・バランスの充実を図る取り組みを実施

会社概要

- 創 業：昭和25年
- 本社所在地：茨城県日立市
- 主たる事業：産業機械用溶接構造物の製造
- 従業員数：52名

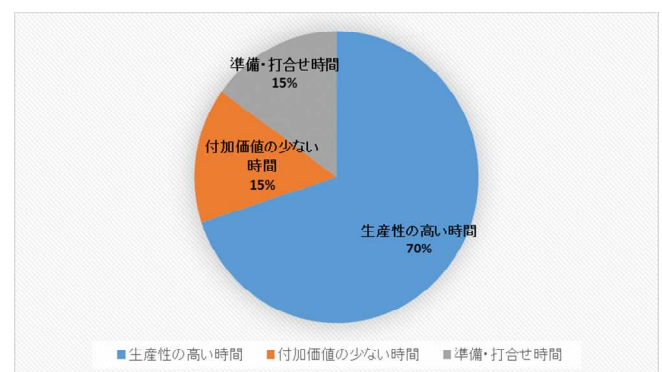
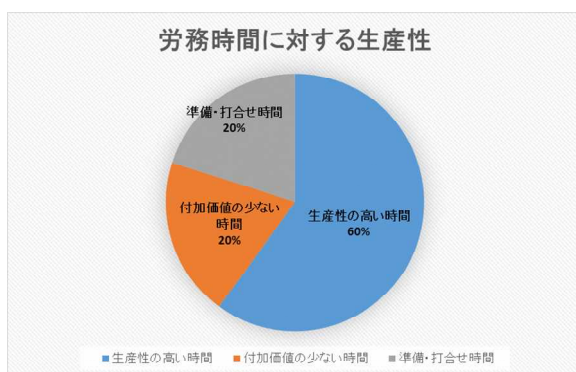


働き方改革取り組みへのきっかけ・抱える課題

2002年には品質マネジメントシステムの国際規格「**ISO9001**」の認証を取得し、ISOを経営の柱として、生産管理システム、品質管理システムを確立して参りました。また、昨年度からは、人材育成プログラムを導入し、従業員向け研修にも本格的に着手し生産性向上の成果が出てきたところでありますが、急速に進むIT化や労働市場の変化へ対応する為には、マネジメント力向上を図る取り組みの必要性を感じていた為。

取り組み内容

- ワーク・ライフ・バランス実践への取り組み
 - ・スタンダードタイム（ST）を把握、設定をした上で改善を図る取り組みを継続実施
 - ・商材毎の製造フローを明確に図式化することによる業務の平準化の促進
 - ・人材育成プログラムの導入



2. 株式会社旭製作所

製造業

コンサルティング実施内容と成果

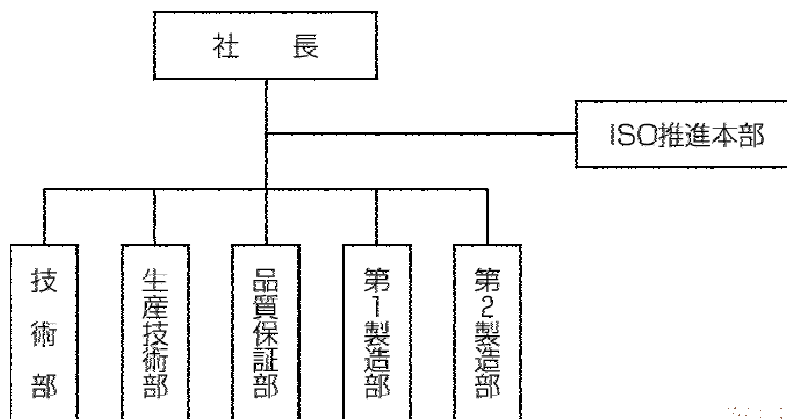
これまで行ってきた取り組みをベースにその運用を強化すべく、現場リーダー向けの研修を実施。マネジメント力強化、ISOの取り組みと結びつけてPDCAサイクルの精度向上等を通じ、生産性向上を図る取り組みを実施する為に、必要な研修内容の立案をサポート。

◆研修制度のコンサルティング実施

ISO本部本部長に職長教育プログラム立案のコンサルを実施した事により、現状課題の抽出、ゴールイメージの明確化に繋がった。

【実施による成果】

- ・研修目的の明確化
- ・過去の研修プログラムとの整合性の確認
- ・現状の課題抽出
- ・研修プログラムの作成



◆現場の職長教育の実施（予定）

現場の職長クラスに研修を実施し経営的な理解促進を進め現場のマネジメント力向上を目指す取り組みを実施予定。

現場の労務管理の強化も図り、ワーク・ライフ・バランスの取り組みにも繋げる予定。



今後取り組む企業へのメッセージ

働き方改革とは、一人ひとりの仕事を減らすという事ではなく、どう生産性を上げていくのがポイントと考えています。それは働く側もある意味では今まで以上に大変になるという事でもあろうかと思えます。日本の製造業の現場はかなり効率化が図られており、今後は人材育成（マネージメントの向上）と管理部門の強化が必要になってくるのではないのでしょうか。